



生産性向上支援訓練利用者の声



イズミマトリックス株式会社 様

利用コース：
『リスクマネジメントによる損失防止対策』

支援の流れ：

●課題・要望等

経営理念として積極的に社会への関りを持ち続けながら、自分を律する事の出来る人材を輩出することで、仲間全員が幸福に帰属する事を目標に掲げており、社長・専務の2マン体制の会社から、ドライバーを管理者候補に引き上げて組織化を検討。昨年は組織力強化とマーケティングを研修。今期は物流業における労働災害防止の観点や、メンタルヘルスとストレスチェックについて、特に怒りの感情をコントロールするアンガーマネジメントについて学ぶことで、現場で仕事の指示に対して感情を制御できずイライラしてしまう、他人の業務と比較して自分より楽な仕事をしていると不満に感じてしまう、相手の置かれている状況を顧みず話を投げてしまい場を悪くしてしまう、顧客のムリな注文に対して否定的な態度で接してしまう等の問題点の改善したいと考えている。また、的確な情報伝達の重要性を理解し行動に移せるようにしたい等、組織強化の為の社員一人一人の意識改革、コミュニケーションスキルのレベルアップを研修によって学べることを希望。

●提案内容

現場、職務に合わせた「リスクマネジメントによる損失防止対策」を提案。社員のコミュニケーションの取り方（アサーショントレーニング）やアンガーマネジメントも含めてメンタル面でのスキルアップと、安全衛生委員会設立を目標に職場でのリスクマネジメントの習得を提案。企業独自の「5 5ルール」を織り込み、研修内容に会社の業務との具体的な接点を設け理解しやすい内容に工夫を凝らした。出来るだけ多くの社員に学ぶ機会を与える為に日程や研修場所を設定し、職場、職種毎にカスタマイズした「リスクマネジメントによる損失防止策」の訓練を実施した。



【事業主の声】事業主アンケートにて高い評価をいただきました☆☆☆☆☆

1972年創業の運送会社で、企業理念として積極的な社会への関りと自らを律する人材の輩出、関係者全員の幸福への帰属を目指しています。社員を育てるにあたり、ドライバーでの現場職務で現場を知り会社の運営基礎を学んで貰い、又その後は現場リーダー、管理職を経て自分自身のブランド力を構築して貰いたいと思い社員教育にも力を入れています。（次ページにつづく）



代表取締役 田口 智一 様

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構埼玉支部

ポリテクセンター埼玉（埼玉職業能力開発促進センター）
生産性向上人材育成支援センター

〒336-0931 埼玉県さいたま市緑区原山2-18-8 TEL 048-813-1081

URL : https://www3.jeed.go.jp/saitama/poly/company_support/seisansei/kunren_seminar.html

ポリテク埼玉 生産性



click!



生産性向上支援訓練利用者の声



生産性向上支援訓練については、昨年の埼玉県彩の国ビジネスアリーナでのブース訪問をきっかけに、担当相談員の方の細やかなフォローを頂き昨年は組織力強化とマーケティングの研修を受けました。

今年は組織力強化を図るのに必要なコミュニケーションのスキルアップの為に、「リスクマネジメントによる損失防止策」を基軸にカスタマイズしていただき、各職務層に合わせて物流業における労働災害防止の観点や、メンタルヘルスとストレスチェックについて、特に怒りの感情をコントロールするアンガーマネジメントについて学ぶことで現場での問題点を改善したいと思いました。

リスクマネジメントに関する考え方や方法、的確な情報伝達の重要性を理解し行動に移せることを理解することで、リスクによる損失の回避及び損失拡大の防止を行い、不確定要素の軽減及び排除を目指しました。

更に研修では会社独自の「55ルール」にも絡めてもらう事で、受講者も身近に感じられた研修内容だったと思います。

受講者からは「以前の会社では研修など受けさせて貰えなかった」「充実した研修を受けられました」等、従業員に研修の機会を与えられた事を私自身嬉しく思っています。

物流業も「運ぶだけ」から大きく変化しており、お蔭様で事業内容も拡大しており、トラックの運転だけでなく、顧客対応能力や計数能力の向上により他社との差別化を図る必要があると思っており、今後もますます従業員のレベルアップが必要と感じております。

【受講者の声】受講者アンケート評価(満足度100%)

※受講者アンケート設問2の回答が「①大変役に立った」及び「②役に立った」と回答した方の有効回答数に対する割合です。

私が所属している配送グループでは、隣接エリアの担当ドライバーとの情報のやり取りや、配達先のお客様への細かいコミュニケーションが必要となる場面がとて多く、更にお届け先によっては自分でフォークリフトを操作して荷作業を行わなければならない場所もあります。

お客様からは無理な要求をされることも多く、気持ちに余裕がなくなること多々ありましたし、隣接エリアのドライバーと特に忙しい時期などは仕事の押し付け合いや業務連絡の不備等も発生し、上手く現場が回らなくなり結果としてお客様にご迷惑をかけることもありました。

今回研修を受けて、アサーティブコミュニケーションという考え方を初めて聞きました。アンガーマネジメントにも通じ、気持ちをコントロールすることで現場を上手く回す事が出来ると感じました。

また、普段何気なく仕事をしている場所で大きな危険が潜んでいることも研修で学ぶ事が出来ました。工業団地内の会社にお届けする事が多いのですが、横道から急にフォークリフトが走行してきたり、道路側に荷物がはみ出ている工場などもあり、一般道を走行する以上に気を使っています。

ヒヤリハットの情報を他の従業員と共有する事が安全運転に繋がると感じました。

会社でも、今回の研修を契機に安全衛生委員会を立ち上げると聞きました。会社から事故が一件でも減ることを目標に、自分が出来る事を進めていきたいと思っております。



主任 佐々木 隆志 様

